

産学官連携フォーラムを開催

平成26年11月20日に本学を会場として「第4回新潟産学官連携フォーラム」が開催されました。主催者は新潟県や県内大学等であり、企業や大学関係者等177名が参加しました。このフォーラムの目的は、産学官が連携し、「産」と「学」のシーズとニーズをマッチさせることにあります。今回は第4回目のフォーラムであり、「医工連携を可能とする大学のシーズ」をテーマとし、本学が幹事校を務めました。

先ず、「医療ニーズに立脚した医療機器開発の重要性」と題する特別講演が、早稲田大学ナノ理工学研究機構 谷下一夫教授より行われ、日本の医療とものづくりの現場では乖離があり、それを取り除く事を目的の一つとして掲げる日本医工ものづくり

コモンズの紹介と取組事例が紹介されました。続いて、新潟県における医工連携の取り組み事例について、新潟大学、長岡技術科学大学、本学及びミズホ株式会社の順に、失敗事例を含めていろいろ紹介されました。

続いて、(独)医薬品医療機器総合機構 審査専門員 金田悠拓氏による、「地域企業・大学研究者へのメッセージー医療機器分野進出のためにー」と題する特別講演が行われました。医療機器と薬事法の規制、その承認審査の状況ならびに開発現場に期待すること等が詳細に紹介されました。



谷下氏の講演



金田氏の講演

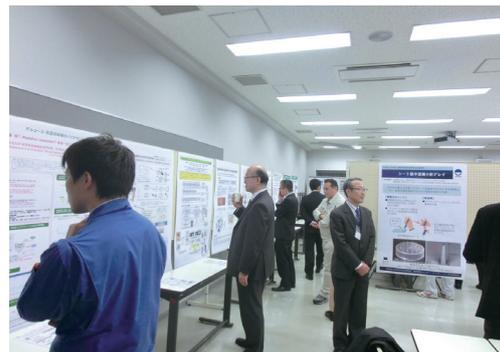


原センター長の本学取組紹介

なお、フォーラムの開催を前に、産学連携の促進を図る狙いから、本学の研究施設の見学、県内大学の研究シーズを公開するポスター展示が行われ、本学が県内での有力な工科系大学の一つであることを示すことが出来ました。



研究施設見学の様子



ポスター展示の様子